

ようやく満開となった桜の下で、いよいよ新しい年度の始まりを迎えました。

本日ここに、令和6年度 東京都立大森高等学校 全日制課程 第79回入学式を挙行するにあたり、御多用の中御臨席賜りました、御来賓の皆様には、謹んで御礼申し上げます。

ただいま呼名を受け、正式に大森高等学校の生徒となった109名の新入生の皆さん、改めて入学おめでとう。皆さんを大森高等学校の仲間として迎えることができ、大変うれしく思います。期待と不安が入り混じった気持ちで、今日を迎えたことと想像します。三月二十二日の入学前説明会から、まだ二週間ほどしか経っていませんが、春休み中に準備を進めながら、高校生になるのだ、という自覚はできたでしょうか。

保護者の皆様におかれましては、この入学式を迎えるまで、お子様を支えながら、様々なご

苦勞をなさってきたことでしょう。本日、この晴れの日を迎えられましたこと、校長として共に喜び申し上げます。本校の教育活動を御理解いただき、これから始まるお子様の高校生活について、私たち教職員と力を合わせて、引き続きご支援いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

さて、大森高等学校の校訓は、「敬愛 誠実 努力」です。それこそが、「人間として求められる、身に着けておくべき力」の象徴である、と私は考えています。ここに集まった新入生諸君が、大リーグで活躍している大谷選手のような有名な人にならなくても、一人一人が自分の持てる力を発揮し、誰かとその力を合わせて生きていくためには、人間としての力を磨くことが不可欠なのです。現代は、英語の頭文字を取りアルファベットでVUCA、ブーカの時代、と言われています。変わりやすく、不確実で、複雑で、

曖昧な時代、という意味です。皆さんは、これから、そのような時代を支える人財として、生きていかなければなりません。そのために、本校で、様々な学習や経験を通じ、確実に成長していったほしい、と期待しています。しかし、どのような時代であろうとも、人間として大切にしなければならぬ考え方は変わらない、と私は考えているのです。それこそが、校訓の「敬愛 誠実 努力」です。

もう少しかみ砕いてお話します。「敬愛 誠実 努力」は、どのように行動で示せばよいのでしょうか。

まず一つ目、「敬愛」について。どうか皆さん、礼儀正しい人でいてください。礼儀正しさを、先輩や先生のような目上の人に対してだけでなく、同級生同士であっても、家族であっても、町ですれちがう知らない人に対してであっても、いつも発揮できる大森高校生であってください。

無礼な人は、どのような世の中でも、信頼を得ることが難しくなります。中でも、最も簡単な礼儀正しさの表現は、挨拶をすることです。挨拶を交わす、ということは、私はあなたのことを認識していますよ、ということを表示する最も基本的な方法であるからです。

二つ目、「誠実」であるためには、ひとの話をよく聞き、物事をよく考える人であることです。考えすぎて行動できなくなるのも困りますが、考えなしに行動して迷惑をかけるよりは、余程、誠実であることに近づくはずですが、対して誠実であることはもちろん大切ですが、その前に、まず、自分に対して誠実であってください。その場限りの感情で動くのではなく、今、自分に何が求められているのか、何をすべきであるのか、しっかり考えて行動できるようにすること、それが自分に対して誠実であることです。つまり、動物的な本能とは違う、理性を發

揮すること、それが「誠実」の実現につながります。

三つ目、「努力」、これはいちいち説明の必要もありませんが、但し、努力のレベルは際限なくあるものです。自分が努力した、と思ったことが、別の人にとっては普通だよ、ということもあるわけです。だからこそ、高校生という若い、けれども成人になる直前のこの時期に、高校という場で、様々なことを通じて様々な価値観に出会い、自分のレベルをいつもアップデートしていく「努力」が必要なのです。あなた方の若さは、まだまだ未熟でいくらでも変化できる可能性に満ちています。3年間の努力の成果が、卒業を迎えるその時に、進路実現という一つの成果となっていることを期待しています。

ともかく、皆さんの大森高校での3年間が、充実した人間力育成の時間になることを、私は心から願っています。「敬愛 誠実 努力」は、本

校の80年に及ぶ歴史の中で、先輩方が脈々とつないできた、大切な校訓です。少人数展開や一人1台のパソコンを使う授業が主流になった今でも、その考え方の重要さは変わりません。どうぞしっかりと記憶して、日々の学校生活を送ってください。変わりやすく、不確かで、複雑で、曖昧な時代を、自分の芯をしっかりと固め、しかし、柔軟にしなやかに生き抜いて行く、そのような人になるべく、毎日の高校生活を大切に過ごしてください。

結びに、私たち教職員一同、この大森高等学校に迎えた新入生の皆さんを、人々に愛され社会に貢献できる人間として送り出すまで、確実に育てることをここにお約束し、式辞といたします。

令和6年4月9日

東京都立大森高等学校長 池田 美穂